

広報 **しんじょう**

10
2011

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.646

ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール info@city.shinjo.yamagata.jp

ホームページ検索

検索



市長就任のあいさつ

新庄市での暮らしをどう感じていますか？
みんなで支え合う社会の実現

頑張ろう、東北。

新庄市は、東日本大震災の復興を支援します。



市政二期目に向けて

このたび引き続き市政の重責を担うことになりました。これまでの四年間は、財政の健全化に向けた取り組みから始まり、「味覚まつり」や「そばまつり」の初開催などをとおし「まち」を元気にしたいという思いで突き進んできました。ようやくその兆しが見え始めた今、「新庄市まちづくり総合計画」(第四次新庄市振興計画)がスタートし、市の将来像として「自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち新庄」を掲げています。少子高齢・産業国際化など地方にとって厳しい環境の中で、将来像を確実に具現化していくことが二期目の命題です。まさに「実現力」にこだわった施策で、新庄に暮らす誰もが、ふるさとの豊かさや安全安心を実感できるまちづくりに全力で取り組みます。

とりわけ、「新庄まつり誘客百万人構想」を掲げ、秋田県の奥羽本線沿線、宮城県大崎地域との連携を深め、四季折々互いに情報発信し誘客につなげ、雇用・交流人口の拡大を目指します。永遠の課題である雪対策の強化と医療・福祉体制の充実で、安全安心を図ることは当然のことながら、大規模災害に備えた防災体制の整備、脱原発に向け地域の持つエネルギーとして、実用化に向けた雪の利用も研究してまいります。最後に、まちづくりは人づくりであり、すべての基本はそこにあります。四年間の図書活動推進から、図書支援員がいることで、学校図書館が明るくなった、学習態度が落ちてきたなどの成果も報告されています。今後も、ふるさと学習により郷土愛をはぐくみ、市の将来を担う人材を育成するために、子育て・教育環境の一層の充実に取り組みます。この三本の柱を基本に「元気なまち」を実現します。特に元気に年を重ねる高齢者がいきいき暮らすまち、ふるさとを愛する子どもたちに夢を与えられるようなまちづくりをめざします。

元気なまちづくりは、なんとと言っても「市民参加による協働のまちづくり」が基本です。今後とも市民の皆様「まちは誰のもの」と問いかけて、そして行政は「市民第一主義」いわゆる「親切な心」に徹していくことで、互いに信頼しあえる関係を築くことが、元気なまちづくりにつながると確信しています。

初心忘れず、恐れず取り組みます。

新庄市長 山尾順紀

市は、ニーズの把握や、施策の達成度を評価するため、毎年、アンケート調査を実施しています。市民の皆様が普段どのようなことを感じ、どのようなことを重要と考えているかをお聞きし、その結果を、施策の重点化や業務の改善に役立てるためです。今年度実施した市民アンケート調査の結果をお知らせします。

新庄市での暮らしを どう感じていますか？

— まちづくり市民アンケート調査結果 —

調査概要

- 調査対象 新庄市に住所を有する満18歳以上の男女950人
(住民基本台帳を用いた無作為抽出) 回収率47.2%
 - 調査内容 ①暮らしの満足度(68項目)、②これからの暮らしの中での重要度(68項目)、③暮らしの現状と考え方(26項目)、④定住志向
- アンケート分析に当たり、調査内容①「満足度」と②「重要度」について、回答を数値化(※計算式参照)して比較しています。また、満足度と重要度の差を「ニーズ度(必要度)」とし、「重要度が高いが満足度は低い項目はニーズ度が高い」ととらえ、今後の事業実施に活かしていくことにしています。

※数値計算式

[下記の点数×回答者数]の合計 ÷ [総回答者数－無回答者数]

「そう思う」「重要」= 5点、

「どちらかといえばそう思う」「やや重要」= 4点、

「どちらともいえない」= 3点、

「どちらかといえばそう思わない」「あまり重要ではない」= 2点、

「そう思わない」「重要ではない」= 1点

◎ニーズ度は、この式から算出された「重要度の数値」－「満足度の数値」になります。

結果の概要

●満足度調査の結果

「新庄まつりなどの観光振興が図られている」が3.72、「ごみの収集体制が充実している」が3.71、「水道が整備されている」が3.56と、例年通り高い結果となりました。また、「安全・安心な農産物が生産されている」が3.55と、昨年より高くなっています。

●重要度調査の結果

「除雪・排雪体制が充実している」が4.57、「流雪溝の整備が充実している」が4.49など、雪関連の項目と、「救急医療体制が充実している」の4.56、「消防・防災体制が充実している」の4.45など、生活に直結する項目の重要度が高い傾向にあります。

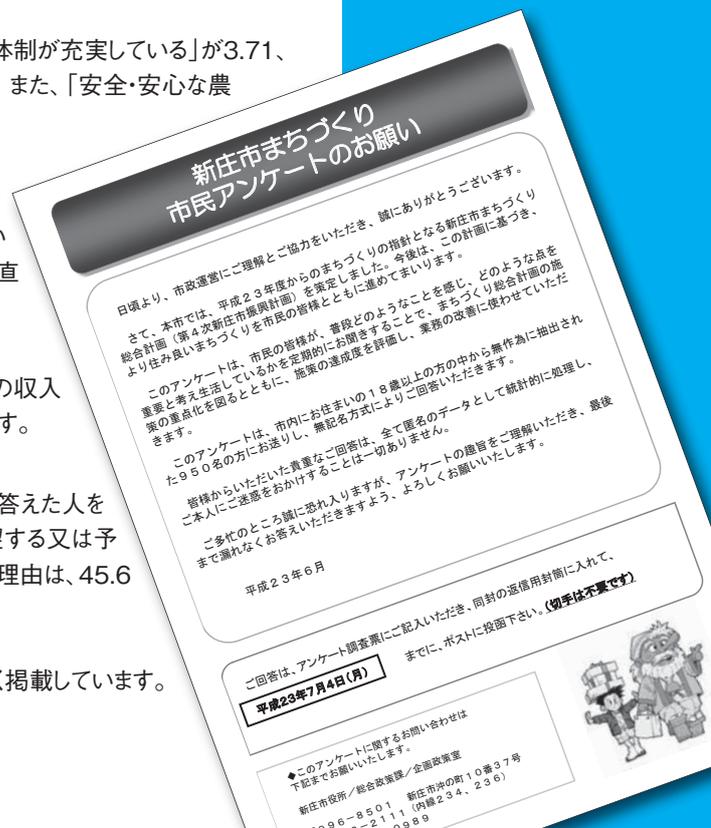
●暮らしの現状と考え方

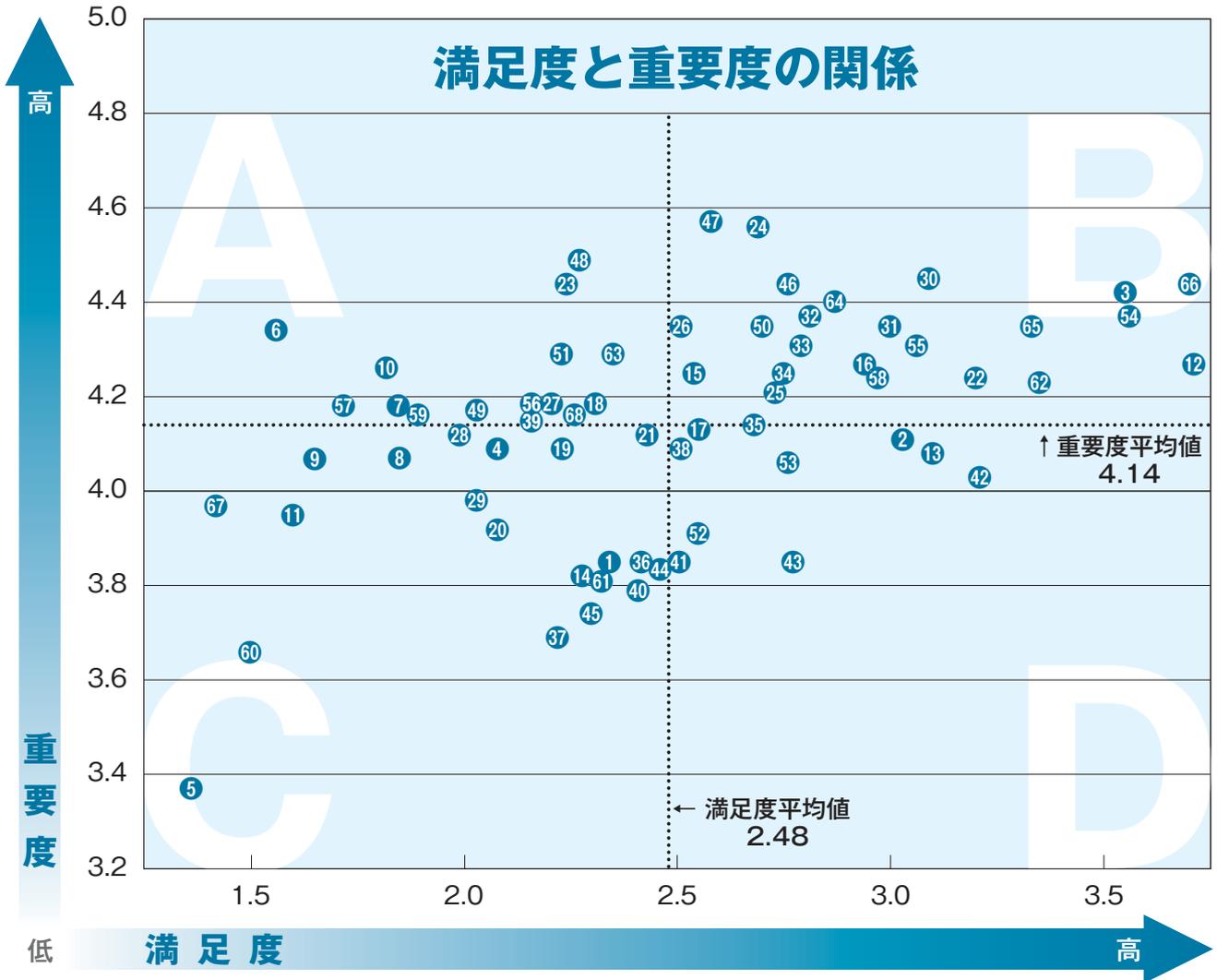
家族や隣近所との交流に関する項目などの率が高い一方で、現在の収入についての満足度や、市内の公園の利用度などの率が低くなっています。

●定住志向

「今後も新庄市に住み続けたい」、「できれば市内で転居したい」と答えた人を合わせると、その割合は全体の68.7%で、他市町村への転居を希望する又は予定している人は17.7%となっています。転居希望又は予定の場合の理由は、45.6%の人が「雪が多い」ことを挙げています。

次ページで、満足度や重要度などについて詳しく掲載しています。





分布図の見方

上の図は、満足度と重要度の数値を分布図に表したものです。図中の丸数字は左ページの設問項目に対応しているとともに、その項目のおおよその結果数値が分かるようになっていいます。横軸は満足度を表し、縦軸は重要度を表しています。満足度は右へ向かうほど高く、重要度は上に向かうほど高くなります。

また、満足度と重要度の平均値を破線で示しています。この2本の線で分割された4つの領域は、次のように分類されます。

- A…重要度が高く満足度は低いもの
- B…重要度が高く満足度も高いもの
- C…重要度が低く満足度も低いもの
- D…重要度が低く満足度は高いもの

ニーズ度について

ニーズ度(重要度と満足度の差の数値は、0.55から2.78までの範囲にあります。ニーズ度の高い項目には、「魅力ある雇用場が確保されている」が2.78、「働く人材が育成されている」が2.43、「多くの企業が誘致されている」が2.41、「新規起業者の支援が充実している」2.34と働く場の確保に関する項目が高くなっています。今年から設けた「太陽光、風力などの自然エネルギーが活用されている」も重要度は平均より低いものの高い数値となっています。

暮らしの現状と考え方について (結果の一部を紹介します。)



満足度と重要度の 設問項目

かつ書きの数字はニーズ度で、上位10項目を太字にしています。

農林・商工 観光・交流

- ① 農業の振興が図られている(1.51)
- ② 地産地消に取り組んでいる(1.08)
- ③ 安全・安心な農産物が生産されている(0.87)
- ④ 農業の担い手が育成されている(2.01)
- ⑤ 林業の振興が図られている(2.01)
- ⑥ 魅力ある雇用の場が確保されている(2.78)**
- ⑦ 商業、サービス業の振興が図られている(2.33)**
- ⑧ 工業の振興が図られている(2.22)**
- ⑨ 多くの企業が誘致されている(2.41)**
- ⑩ 働く人材が育成されている(2.43)**
- ⑪ 新規起業者の支援が充実している(2.34)**
- ⑫ 新庄まつりなどの観光振興が図られている(0.55)
- ⑬ お土産などの物産振興が図られている(0.97)
- ⑭ 都市との交流が図られている(1.54)

- ⑮ 子育てしながら働くことができる(1.72)
- ⑯ 幼稚園・保育所の施設が整備されている(1.33)
- ⑰ 学童保育が充実している(1.58)
- ⑱ 子どもの遊び場が充実している(1.87)
- ⑲ 子育ての相談・支援体制が充実している(1.86)
- ⑳ 家庭教育の相談・支援体制が充実している(1.85)
- ㉑ 妊産婦や乳幼児の検診や相談が充実している(1.70)
- ㉒ 地域で子どもの見守りが行われている(1.04)
- ㉓ 専門的な診察や高度な治療を受けることができる(2.21)
- ㉔ 救急医療体制が充実している(1.88)
- ㉕ 健康管理、健康づくりが促進されている(1.48)
- ㉖ 在宅介護サービスが充実している(1.84)
- ㉗ 介護予防活動が充実している(1.98)
- ㉘ 障がい者の自立生活の支援が充実している(2.13)
- ㉙ 市民の困りごとなど相談体制が充実している(1.95)
- ㉚ 消防・防災体制が充実している(1.36)
- ㉛ 交通安全対策が充実している(1.35)
- ㉜ 防犯・治安対策が充実している(1.56)

子育て・健康 福祉・防災

教育 学習・文化 スポーツ

- ⑳ 学校教育が充実している(1.52)
- ㉑ 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれている(1.49)
- ㉒ 学校施設・設備が充実している(1.47)
- ㉓ 生涯学習の場が充実している(1.42)
- ㉔ 市民活動に対する支援が充実している(1.47)
- ㉕ 青少年が健全に育成されている(1.58)
- ㉖ 地域を支える人材が育成されている(1.99)
- ㉗ 文化・芸術活動が充実している(1.37)
- ㉘ 文化財が保存・整備され、活用されている(1.35)
- ㉙ 伝統文化が受け継がれている(0.82)
- ㉚ スポーツ活動が盛んである(1.08)
- ㉛ スポーツ施設が充実している(1.38)
- ㉜ スポーツ競技力の向上が図られている(1.44)

社会生活基盤

- ㉝ 隣近所の除雪の協力体制が充実している(1.68)
- ㉞ 除雪・排雪体制が充実している(1.99)
- ㉟ 流雪溝の整備が充実している(2.22)**
- ㊱ 利雪・親雪の取り組みが行われている(2.14)
- ㊲ 市道が整備されている(1.66)
- ㊳ 道路や建物が、高齢者や障がい者に、やさしくつくりられている(2.06)
- ㊴ 住宅地が整備されている(1.37)
- ㊵ 公園が整備されている(1.30)
- ㊶ 水道が整備されている(0.81)
- ㊷ 下水道が整備されている(1.25)
- ㊸ 洪水や土砂災害などの防止対策が充実している(2.01)
- ㊹ 公共施設の耐震化が図られている(2.45)**
- ㊺ 国道や県道が整備されている(1.27)
- ㊻ 中心市街地の活性化が図られている(2.27)**
- ㊼ 空き地・空き家対策が充実している(2.17)

自然 環境

- ㊽ 自然学習や環境教育が充実している(1.49)
- ㊾ 緑豊かな自然環境が保たれている(0.88)
- ㊿ 不法投棄が防止されている(1.94)
- ㊿ 川がきれいである(1.53)
- ㊿ ごみの減量化、リサイクル活動が盛んである(1.02)
- ㊿ ごみの収集体制が充実している(0.73)
- ㊿ 太陽光、風力などの自然エネルギーが活用されている(2.55)**
- ㊿ 省エネルギー対策に取り組んでいる(1.90)

●市民ニーズを市政に

今回の調査結果は、まちづくりの指針となる「新庄市まちづくり総合計画(第4次新庄市振興計画)」を着実に進めるため、施策の重点化や業務の改善に活用し、市民の目線に立った行政運営に役立てていきます。

なお、調査結果の詳細は、市ホームページに掲載するとともに、市施設に備え付けていますのでご覧ください。

◎詳しくは、総合政策課企画政策室へ。 ☎内線234・236

みんなので支え合う社会の実現 災害時要援護者避難支援プラン策定

近年、高齢社会と核家族化などが進み、一人暮らしの高齢者が急増しています。さらに、「無縁社会」と言われるように地域のつながりが希薄になり、孤立する住民も増えています。

市では、万が一に備え、災害時に助けを必要とする人と地域との関わりを深め、支援する仕組みづくりを目的とした「新庄市災害時要援護者避難支援プラン」を策定し、地域で支え合う社会の実現に取り組んでいきます。

■災害時の要援護者支援

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしました。大災害で亡くなったり負傷する被害者の多くが、高齢者や障がい者です。そうした被害を最小限に食い止めるため、日ごろから災害発生を想定し、地域でお互いに支え合う体制を整えておくことが重要です。

■さらなる高齢化の波

高齢化は全国的な傾向です。現在の新庄市の人口に占める六十五歳以上の割合（高齢化率）は約二十六％です。市内では、すでに高齢化率四十％を越えている町内もあります。今後団塊の世代が高齢者となつていきますので、五年後にはその割合は市全体で約二十九％となり、一人暮らし高齢者も千人を

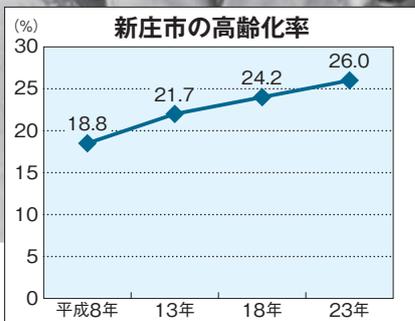
■見守り活動の現状

超えることが予想されます。一人暮らしでも健康で自分でもできる方も多い一方、歩行も困難な状態で暮らしている方もいます。そうした方は、近所とのつきあひも滞りがちで孤立する場合があります。民生委員を中心に定期的な訪問を行ったり、気楽に集まれるお茶飲み会（地域サロン・なごみ会）の開催などの見守り活動が行われています。

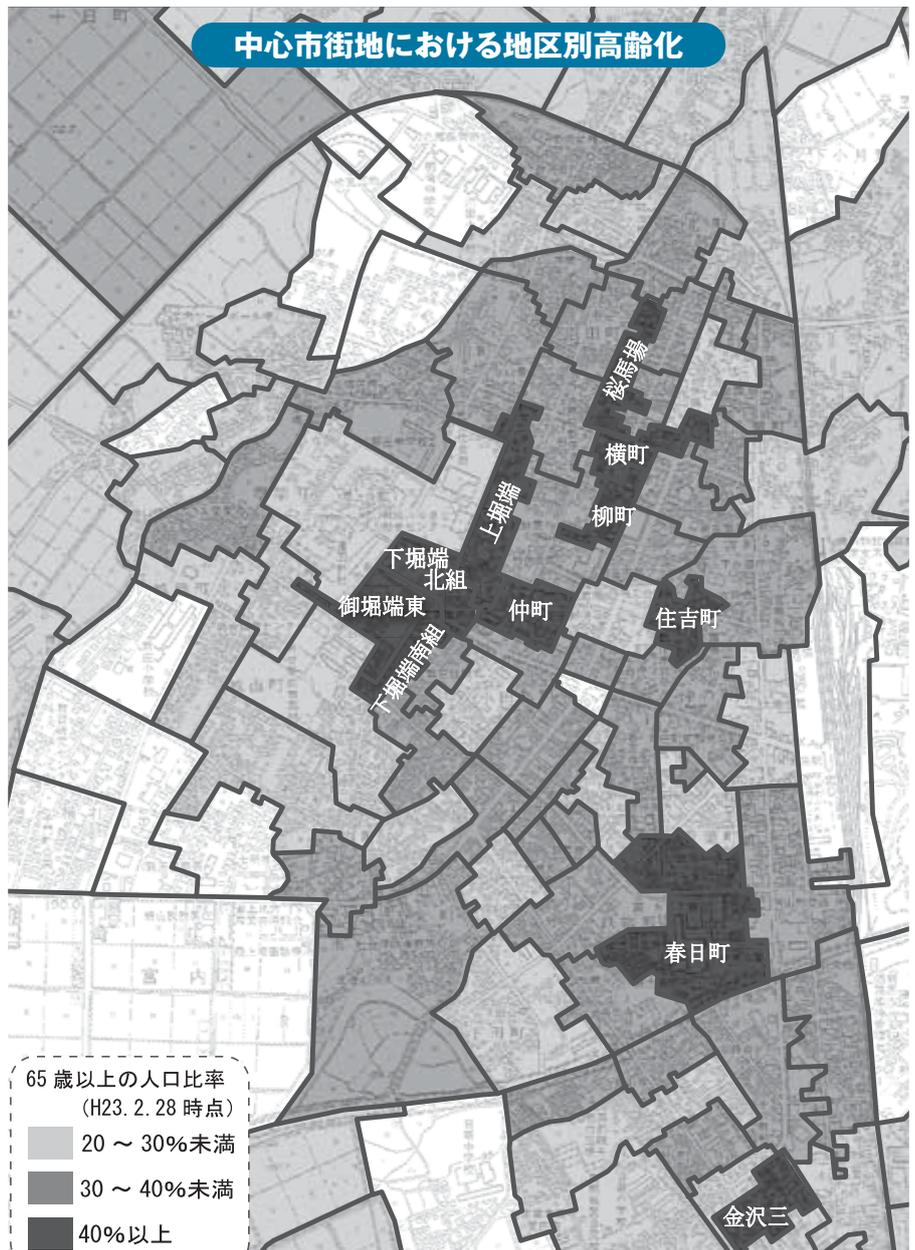
しかし、大規模な災害時において被災者が多い状況では、民生委員だけで短時間に多くの要援護者（高齢者のみ世帯、昼間独居、寝たきり、障がい者の一人暮らしなど）の安否確認を行うことは困難です。そのため、地域のみなさんの協力や支援が必要となります。



▲社会福祉協議会・地域包括支援センターが中心となり、地域サロンやなごみ会などを開催し、地域の見守り活動が円滑に行われるよう支援をしています。



中心市街地における地区別高齢化



高齢化率の高い地区

1	御堀端東	58%
2	横町	46%
3	下堀端北組	44%
4	下堀端南組	42%
5	仲町	41%
5	柳町	41%
5	桜馬場	41%
8	春日町	40%
8	住吉町	40%
8	上堀端	40%
8	金沢三	40%

■地域での支え合い

昔と比べて、日常的な行き来が少ない現状では、地域が意識的に見守りや安否確認などを行う体制づくりが必要となっています。災害時要援護者避難支援プランでは、まず日常の見守り体制を整備することから始めます。要援護者と地域との接点を良好に保ち、万

■要援護者申請と登録

十月下旬をめどに、自力で避難できない高齢者や障がい者から登録申請を受け付けます。該当者と思われる方には、民生委員の訪問や郵送により申請の案内を行います。自分自身で申請が困難な場合

が一の災害時には、地域の共助が機能するよう仕組みづくりを行います。今後実施する要援護者の登録後、その情報を基に日頃からの見守りを中心に、災害時を想定し要援護者をどう支えていくかを地域で話し合っていくこととなります。人間関係を築いていくことは一挙にはできません。回覧板を直接本人に手渡したり、郵便物の滞留がないかなどの確認から始め、徐々に話を

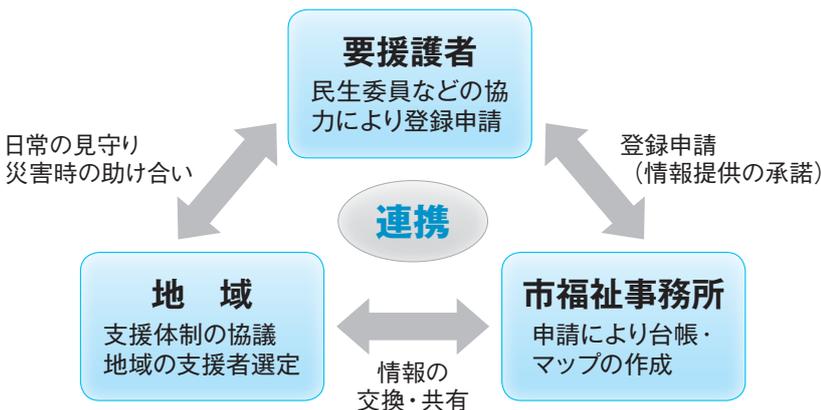
する機会を多くし、絆を深めていくことが必要です。

は、民生委員や地域包括支援センター、ケアマネージャーなどにご相談ください。

この申請は、区長(役員含む)・自主防災組織の長などへの情報共有について了承する旨の同意書も兼ねていて、地域の支援体制の構築などに活用されます。

◎福祉事務所高齢障害支援室

☎内線550



コミュニティ助成事業 ～地域づくりに活用ください～

コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源として、地域のコミュニティ(地域社会)活動に対して助成を行うものです。



平成23年度に助成を受けた団体

落合町若連



- 助成額 250万円
- 助成対象 祭り備品の整備(山車横幕、法被、山車用ライト、テントなど)

関屋磯子若連



- 助成額 180万円
- 助成対象 祭り備品の整備(太鼓、法被など)

※平成24年度事業の申請については現在未定となっています。事業の実施を希望する自治会・町内会などは総合政策課までお問い合わせください。
◎総合政策課地域支援室 ☎内線217

秋のMOGAMIおでかけ情報

真室川町収穫祭

- とき 10月23日(日)
- ところ 真室川町役場駐車場
- 内容 農産物の販売、もち・芋煮のふるまい
- ◎真室川町産業課 ☎62-2111

まるごとさげがわ鮭まつり

- とき 10月23日(日)午前10時～
- ところ 鮭の子公園
- 内容 鮭のつかみ取り(前売り券¥1,500)
農産物の販売、もち・芋煮のふるまい
- ◎もがみ北部商工会鮭川事務所 ☎55-2032

第2回とざわ旬の市

- とき 10月29日(土)～30日(日)
- ところ 戸沢村角川地区
- 内容 家庭の味コンテスト、そば焼酎試飲
30日は新そばまつりも開催
- ◎戸沢村観光物産協会 ☎72-2110

第47回肘折温泉郷なめここけし祭り

- とき 10月27日(木)
- ところ 肘折いでゆ館前
- 内容 なめこ汁のふるまい、こけし即売会
- ◎肘折温泉観光案内所 ☎76-2211

新庄市でも「味覚まつり」や「そばまつり」など多くのイベントが実施される秋。少し足を延ばせば、最上郡内でも催しが盛りだくさんです。最上の秋をまるごと楽しみましょう!



第35回森の遊学塾「山の宝を味わおう」

- とき 10月23日(日)午前8時30分～
- ところ 神室山周辺
- 内容 登山道散策とときのご採りなど
- 参加費 大人1,500円、子ども1,000円(昼食付)
- ※事前に申し込みが必要です。(定員20人)
- ◎遊学の森「木もれび館」 ☎64-3305

最上町秋の大収穫祭

- とき 10月22日(土)午前10時～
- ところ 向町商店街
- 内容 農産物や特産品の直売、抽選会
- ◎最上町交流促進課 ☎43-2262

若あゆ温泉収穫感謝祭

- とき 11月20日(日)
- ところ 舟形若あゆ温泉
- 内容 入浴先着200人につきたて餅のふるまい
- ◎舟形若あゆ温泉 ☎32-3655

このほかにもさまざまなイベントが開催されます。詳しくは、最上地域観光協議会作成のパンフレット「もがみで過ごす週末」をご覧ください。協議会のホームページやもがみ情報案内センターで入手できます。

しんじょうの郷土料理

あけびの詰め物

あけびは熟すとパカッと口を開いたように割れることから、「開け実」がなまって「あけび」と言われるようになったとのこと。山形県外では、中の半透明でゼリー状の甘い果肉を食べるという認識が多いのですが、県内では外側の果皮を料理して食べます。あけびの皮は苦味もありますが、それも味わい深い山形の秋の味覚です。



【材料／5人分】

- あけび…6個
- 豚ひき肉…100g
- 舞茸…120g
- ネギ…60g
- しょうゆ…小さじ2杯
- 味噌…大さじ3杯
- 酒…大さじ1.5杯
- 砂糖…大さじ2杯
- 油…大さじ2.5杯
- 小麦粉…大さじ1杯
- かんぴょう…1m(つまようじで代用できます)

【作り方】

- ①あけびは中身をとって洗っておく。
- ②舞茸は小房に分け、長ネギは小口切りにする。
- ③かんぴょうはさっと洗って、塩でもみ、水洗いしゆでる。
- ④フライパンでひき肉を炒め、②を加えてさらに炒め、しょうゆ、味噌、酒、砂糖を入れ味をととのえ火を止める。
- ⑤①のあけびの皮の内側に薄く小麦粉をつけて④を詰め、つまようじやかんぴょうなどで中身が出ないようにする。
- ⑥フライパンに油を熱して⑤を入れ、ふたをして中火で5分くらい両面を焼く。

調理のポイント

あけびは過熱により色が抜けてしましますが、じっくり熱を通して調理しましょう。

このコーナーは、食生活改善推進協議会の協力により季節の郷土料理を紹介しています。食生活改善推進協議会では、今年度も定期的に郷土料理教室を開催する予定です。詳しい日程や内容などはお問い合わせください。
◎詳しくは、食生活改善推進協議会事務局(健康課健康推進室)へ。☎内線516

いきいき新庄人

仲間とともに、自己研さん



新庄・もがみ
フラワーフェスティバル2011
山形県知事賞受賞
加藤卓也さん(泉田)

10月に生まれるお子さんと奥様のため、記念になればと意識して出品したトルコぎきょうが、最高賞の山形県知事賞を受賞しました。「今年出品された花はレベルが高いものが多く、その中での受賞はとてもうれしいです。品評会では、花自体の良し悪しに加えて配置や見せ方も重要と思っていますが、特に、花の次に目が行く『葉』には気を使っています」

加藤さんが花の生産農家を継ぐことを意識したのは高校生の頃。「農業大学校で花について学び、卒業後は野菜や鉢花などに関するアメリカでの研修プログラムに参加し、研さんを深めました。その時知り合った日本全国の同志と情報交換できることを、花の生産をするうえでとても強みに感じています」

トルコぎきょうに関する若い世代の勉強の場にしよう仲間と始めた「花まるプロジェクト」は、花屋と種苗店、そして生産者からなる組織として、農業関連の全国紙に掲載されるなどの注目を受けています。「花屋さんや種苗屋さんから情報を得られることは、大変貴重と感じています。ただ、組織としての活動だけでなく、自ら情報を収集して単独でも行動できる生産者を目指すべきというのが私の持論。物事の展開が早いこの業界にあって、対応の柔軟さや、ある程度先を見通した行動も大事と考えています」

集団の力だけでなく、個人としての力も重視する姿勢に力強さが感じられる加藤さん。今後ますますの活躍が期待されます。



山尾順紀

市長コラム



風評被害から地域を守るろう！

収穫の秋、市内の田んぼが黄金色に色づき、そばの白い花とあいまって美しく、また楽しい季節となりました。

そのような中、福島県二本松市のお米に500ベクレルの放射性セシウムが検出されたとの報道がなされました。

丹精込めて作ったお米だけに、二本松の農家の皆さんにとっては大変ショックなことだと思います。またこのことは、福島第二原発事故の影響と見られますが、遠い地方の皆さんからすれば、東北と言っただけでひとくくりになされてしまう恐れもあり、二本松のみならず、新庄も含めた東北全体の農家の皆さんも不安を覚えているのではないのでしょうか。

風評という、見えない敵との戦いはきつく、難しいものだと思います。しかし、消費者の手に届くものは全て検査を受けた結果、安全宣言されたものです。東北に住む消費者として、情報を正しく理解し、遠くに住む知人や友人に正しい情報を提供することで、風評被害から地域を守っていきましょ。



松町文化祭の様子



地域づくりに挑戦!

地域づくり通信

第7号

人材の発掘と活用

町内会を上手に運営するためには、町内会の事務局だけでなく老人クラブや婦人会、また、保護者の代表や趣味の団体など、町内にあるさまざまな団体を交えて進めることが大事です。もし、そのような団体が無い場合でも、町内に住む人材を活用することがあります。取り組みを行うことができます。

例えば、美術に造詣が深い人がいる場合には町内で行う文化祭の審査員になってもらうことができます。また、写真やカメラに詳しい人がいれば、審査員はもちろんですが、町内会独自で「写真教室」を開催することもできます。わからないことを聞くときなど、むしろ町内にいる人の方が聞きやすいのではないのでしょうか。そのほかには、カラオケや絵手紙などが得意な人がいれば、町内の中で生涯学習教室を開催することもできます。

こうした意味では、町内に住んでいるいろいろな特技を持っていて人材を調べて発掘しておくことも、有効な町内会活動になりますし、発掘した人材を活用することは、町内の絆を深める一助になるのではないのでしょうか。

「大人のための新庄学」 公開講座のご案内

市民プラザでは、「これからの新庄をどうしていけばよいか、そして私たちはどう生きていけばよいのか」をテーマにセミナーを実施しています。九月二十五日の公開講座では、作家の桐野夏生さんの講演会を開催し、大勢の方に参加していただきました。

次回の公開講座は、「新庄市の昨日・今日・明日」にも言わせろ！各地の取り組みから学ぶ」と題して、地域や趣味の団体で活躍している方々の活動報告とパネルディスカッションを予定しています。

- ▼とき／10月22日(土)午後7時より
- ▼ところ／市民文化会館小ホール
- ▼コーディネーター
山形大学大学院准教授
渡部泰山(大原董)氏

- ▼パネリスト
山形地区連合会事務局長
押切明弘氏

- 民生・児童委員 巻エミ子氏
 - 新庄写真連盟会長 明石 博氏
 - 東北幻野事務局 海藤芳正氏
- 参加者との質疑応答もありますので、興味のある方はぜひおいでください。なお、申し込みは不要ですが定員は先着百名となります。

- ◎公開講座についてのお問い合わせ
市民プラザ ☎22-4200
- 総合政策課 ☎内線217

郷土の歴史 ひとくち 新庄市史

55 劇場と映画館の開館

明治に入つて、人々の娯楽には、町内の料亭で催す寄席や芝居・浪曲などがあり、また村や町の鎮守の宮の祭りなどで行われる芝居・踊りや町内の盆踊り、さらに相撲興行などがあつたが、それらは常設の場所ではなかつた。

日清(明治二十七年～八年)・日露(同二十七年～八年)両戦争の勝利によつて産業経済界は活況を示し、地元では製糸・織物を中心とした産業界の繁栄、さらに最上地方の中心都市・商業都市としての地位向上などを背景として、新庄にも常設の劇場ができた。明治四十四年に建てられた三吉座である。同年五月三日付けの『山形新聞』は、「新庄町十日町小問物商五十嵐菊太郎氏は同町字金沢停車場通りに劇場を建設せんと(中略)準備中なるが、来る七月二十日まで全部竣工の予定なり」と報じている。

大正元年十一月、三吉座開場一周年と三吉屋商店開店(明治二十六年十一月)二十周年記念の五日間の演劇興行や、大正七年四月に三日間連続興行された新派時事劇の案内状や新聞広告などを見ると、おとな十銭・こども五銭程度の観劇料

今月の本



10月の
おすすめ

『だれでも作れる万華鏡—子どもから大人まで楽しく作って遊べる!—』
照木 公子 / 著

きらきらゆらゆら、不思議な別世界をみられる万華鏡。作り方を基礎から解説し、「紙貼り」「糸巻き」「紙風船」などタイプ別に作り方を紹介。オリジナル万華鏡を作って楽しんでみよう!

今月のテーマ展示

『謎』

今月は、超常現象・なぞなぞ・推理小説・ヒストリーなど謎に関する本を展示します。不思議な現象や歴史をひもといてみたり、推理してみるのも楽しいかと思ひます。読書の秋にぜひ『謎』に挑戦してみてください。

※11月5日(土)・6日(日)に行う図書館まつりで本のリサイクルフェアを実施します。読み終えて不用になった本がありましたら10月23日(日)まで図書館にお持ちください。(一人5冊まで)

● 児童図書 ●

図書室の日曜日 村上 しいこ
ありんこのアリー みやにしたつや
神さまがくれた漢字たち 山本 史也
学校では教えてくれないお金の話 金子 哲雄
大どろぼうブラブラ氏 角野 栄子
オトタケ先生の3つの授業 乙武 洋匡

● 一般図書 ●

奥山峰石 仕事集～重要無形文化財保持者(人間国宝)～ 奥山 峰石(新庄市出身)
神変～役小角絵巻～ 山本 兼一
東北三十六不動尊霊場ガイド 春野 草結
人生がときめく片づけの魔法 近藤 麻理恵
恋かたみ 狸穴あいあい坂 諸田 玲子
幸・不幸の分かれ道 土屋 賢二
思い出の写真永久保存完全マニュアル 戸田 覚
アル・ケッチャーノ奥田政行のちゃちゃっとイタリアン 奥田 政行
虚言少年 京極 夏彦
もう限界!! 介護で心がいきづまったときに読む本 自由国民社
宮沢賢治幻想紀行 求 龍 堂
小笠原～父島&母島～ ダイヤモンド・ピック社
楽しさ届けるはじめての絵封筒 内尾 タ子
上を向いて歩こう! のぶみ
アラマタ生物事典 荒俣 宏(監修)

■開館時間:午前10時～午後6時
■休館日:毎週月曜日
◎市立図書館 ☎22-2189



わらすこ すぐすくナビ

WARASUKO HIROBA

幼稚園と保育所って?

何が違うの? ..

幼稚園: 法律に基づく「学校」の一つで文科省の管轄。満3歳から小学校就学前の幼児が対象で、集団生活への慣れや心身の発育促進が目的。
保育所: 法律に基づく「児童福祉施設」の一つで厚労省の管轄。乳児および幼児(0才～小学校前)のうち、保護者が労働等のために保育できない乳幼児を保育することが目的。

認定こども園: 幼稚園と保育所、両方がひとつになった施設。

入園・入所にあたって

市内では、11月1日より各幼稚園の願書受け付けが各園で始まり、12月1日より保育所の入所申請の受け付けが市役所福祉事務所に

児童支援室で始まります。
※入園・入所までに準備するものは各園各所から説明があります。

入園・入所までに...

集団生活に入るまでに生活習慣を見直しませんか? 幼稚園や保育所に入ってから急に变えようと思っても難しいものです。前もって少しずつ気をつけて、習慣化していきますよ。
○早寝・早起き
○毎日歯みがき
○毎朝朝食を食べる
○朝食後の排便
○お風呂に入る
○手洗い・うがい
○なんでも食べる
○テレビやゲームは時間をきめるなど

これからの予定

10月13日(木)
第7回めぐめぐ子育て講座
「消防署見学」

10月24日(月)
第3回ママ向け講座「エコクラフト丸底のカゴを作ろう!」



◎地域子育て支援センター(わらすこ広場内) ☎22-5115

10月の遊びの広場と巡回相談

18日(火)	わくわく新庄
20日(木)	本合海児童センター
21日(金)	萩野児童センター
25日(火)	保健センター

で、また後日の新聞には、当時の人々に評判であったことが掲載されている。
新庄に映画が入ってくるのは大正時代である。当時は「活動写真」と呼ばれていたが、これを写す専門店が設けられた。大正十一年九月に開館した平和館で、場所は、現在の北本町沓沢医院の裏手(東側)である。
映画は、もちろん無声映画で、開幕に先立ちジンタ(吹奏楽)とともに弁士が現れ、名調子であいさつをする。次いで笛(呼子)が鳴って灯が消え、活動写真が始まる。弁士は各場面に合わせて老若男女の声を使い分け巧みに話し、満場の客を笑わせたり涙をさそったりした。活動写真は、当時の人々にとって最大の楽しみであり、弁士は若い人たちの憧れであったという。

■新庄・もがみフラワーフェスティバル(9月3~4日/ゆめりあ)



最上地域で栽培されている花々を集め、「新庄・もがみフラワーフェスティバル」が開催されました。会場では、花の品評会や展示・販売に加え、フラワーアレンジ教室や地元のフラワーデザイナーによるショーなどが華やかに行われました。

■家田荘子さん講演会(9月10日/市民プラザ)

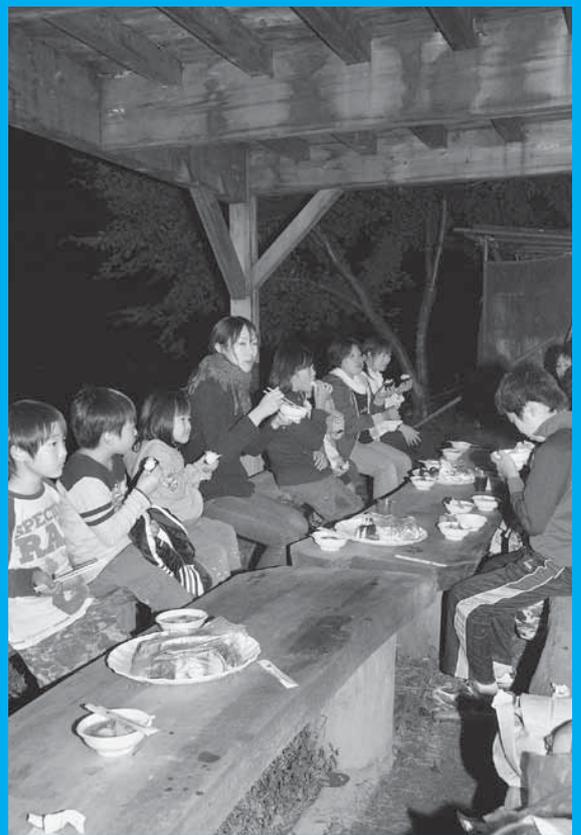


作家の家田荘子さんを講師に招き、自殺予防講演会を行いました。手話であいさつした後、自身の体験などを話し、不器用でも自分のペースで着実に生きていくこと、自殺を防ぐためには周囲の人が話を聞いてあげることが大事と語りました。

■「大人のための新庄学」開講式で桐野夏生さんが講演(9月25日/市民プラザ)



市民プラザ主催の「大人のための新庄学」が開講し、公開講座として桐野夏生さん(作家)の講演会を行いました。桐野さんが今年出版した小説『ポリティコン』の舞台は新庄市に隣接する架空の村という設定。執筆にあたり新庄市を訪れ取材を行っていた縁で、今回の講演が実現しました。



■山屋セミナーハウスようこそ!(10月1日)

平成22年3月に閉校した山屋小学校の改修が行われ、新たに山屋セミナーハウスとしてオープンしました。開所当日は仙台市若林区の二木子供会25人が訪れました。山屋地区の皆さんの協力で、子どもたちは地区内での農産物の収穫や魚釣りなどの体験も行いました。夕食は野外で芋煮がふるまわれました。



■みんなで協力して通学合宿

(9月8日/円満寺公民館)

木栄町子供会では3年生以上の9人の児童が参加し、9月8日から2泊3日の日程で通学合宿を実施しました。通学合宿は子どもたちが共同で生活しながら学校に通うものです。みんなで協力して炊事を行ったり、勉強を教え合ったりしながら子どもたちの絆も一層強まりました。

まじょう
まちかど

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

TOPICS



■明倫学区3校フォーラムで卒業生が講演 (9月13日/明倫中)

明倫中・沼田小・北辰小が3校合同で教育講演会を実施しました。講師は卒業生で(株)三菱総合研究所主席研究員の亀井信一さん。子どもの頃、宇宙に興味を持つようになり今の仕事に就いたこと、高い目標を掲げ努力することの大切さなどについて話すと、子どもたちは興味深げに聞き入っていました。

■わくわく新庄フェスティバル開催! (9月3日~4日)



わくわく新庄 フェスティバル



■16チームが参加し第10回矢口杯少年野球大会が開催されました。主催の日新レッドスターズの招きで、南相馬市の「金房野球スポーツ少年団」も再結成し参加。熱戦を繰り広げました。(9月24日/市民球場)



■山形県障がい者スポーツ大会で新庄チームが優勝 (9月1日/市役所)

8月28日(日)に19組が参加し行われた「第10回山形県障がい者スポーツ大会」で、新庄チームが優勝。この日はメンバーが優勝旗や優勝杯を手に市役所を訪れ、市長に優勝の報告を行いました。



■日新小が新寿荘へ車いす寄贈

(9月2日/新寿荘)

日新小の児童が、車いす2台を特別養護老人ホーム新寿荘に寄贈しました。この車いすは、平成16年度から集められた空き缶のプルタブ約1.5トンを資金に購入したもので、児童代表の5人が新寿荘を訪れ、長に引き渡しました。



3



2



1

1 第11回コスモスまつり開催 (9月4日/体験農園)

2 本澤昌紀行政相談委員が東北管区行政評価局長賞を受賞

3 川西町自主防災会が防災・消防訓練を実施 (9月4日)

10月の おしらせ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

生活道路(市道以外)の除雪は 申し込みが必要です

都市整備課窓口で、10月24日(月)午後5時まで受け付けています。昨年と内容が変わらない場合、書類は不要ですが(申し込みは必要)、新規に申し込む場合などは次の書類が必要です。

- 提出書類 申込書、雪捨て場同意書、位置図
- ※申込書は都市整備課で配布しています。市のホームページからダウンロードもできます。
- ◎詳しくは、都市整備課雪対策・道路管理室へ。 ☎内線529～533

水道メーター交換のお知らせ

計量法に基づき、耐用年数を経過する水道メーターの交換作業を行います。敷地内の作業となりますので皆様のご理解をお願いいたします。

- 交換期間 10月14日(金)～26日(水)
- 委託先 新庄管工事協同組合 ☎22-2350
- 交換地区 円満寺、木栄町、上神明町、水上町、石川町、上茶屋町、川西町の一部、小松室一、御堀端東、御堀端西、宮内二、宮内三、千門町一、上南本町、南紙渡町、沖の町の一部、若葉町の一部、春日町、吉袋町、東本町、東町、上北本町、梨の木、関屋、上鉄砲町、下鉄砲町、金沢新町、金沢二、金沢五、末広町一、末広町二、末広町三、南末広町、日の出町、東山町、鳥越一、二ツ屋、松枝、松本、新松本、角沢、仁田山一、萩野三、吉沢、桜通り東、泉田駅前、往還、横根山、その他
- ◎詳しくは、上下水道課給水・施設整備室へ。 ☎内線356

第66回県美展新庄巡回展 第53回こども県展

▼とき 11月2日(水)～7日(月)午前9時～午後5時(7日は正午まで) ▼ところ 市民プラザ 大ホール・ギャラリー
▼内容 最上郡や県内の洋画・

ふるさと歴史センター ☎22-2188
☎22-6781
◎新庄民話の会事務局・渡部

第26回みちのく民話まつり・秋語り

▼とき 10月15日(土)午前10時30分～正午
▼ところ ふるさと歴史センター
▼参加料 無料

みちのく民話まつり・秋語り

▼とき 10月15日(土)午後2時～4時 ▼ところ 旧矢作家住宅(泉田) ▼参加料 500円

日本画・彫刻・工芸の公募作品の展示、県内の保育園・幼稚園・小中学校の子どもの作品展示

▼入場料 200円(高校生以下無料)
◎市民プラザ ☎22-4200

秋の親子ふれあいスポーツ フェスティバル開催

▼対象 未就学児・小学校低学年児童及び保護者等

▼とき 11月6日(日)午後1時～4時 ▼ところ わくわく新庄
▼内容 体操やエアロビクス、サッカーや空手の体験など
※事前に申し込みが必要です
◎福祉事務所児童支援室 ☎内線544

新庄市体験農園 「大根収穫体験」のお知らせ

▼とき 10月29日(土)・30日(日)午前9時～正午
▼ところ 市体験農園(市民スキ

家族介護者リフレッシュ 事業参加者募集

▼対象 要介護4・5または認知症の高齢者(65歳以上)を在宅で介護している家族

▼とき 11月4日(金)午前9時～午後4時15分 ▼内容 かみのやま温泉などを巡る日帰りバス旅行 ▼申し込み 10月25日(火)まで ※参加無料
◎福祉事務所高齢障害支援室 ☎内線553

農林課農林振興室

☎内線269

平成24年度 幼稚園児募集

●募集期間 11月1日(火)～12月20日(火)

幼稚園名	所在地	電話番号
大手幼稚園	大手町	22-1553
金沢幼稚園	上金沢町	22-6052
向陽幼稚園	太田	23-4575
新庄幼稚園	北町	23-1093
新庄聖マルコ幼稚園	城南町	22-1569

医療機関の適正受診にご協力ください

●救急の場合を除き、平日の診療時間内に受診しましょう。
●「はしご受診」をやめ、「かかりつけ医」を持ちましょう。
●夜間に受診するか迷うときは「救急電話相談」をご利用ください。▼相談時間 午後7時～10時 ▼小児救急電話相談 #80000または023-63310299 ▼大人の救急電話相談 #85000または023-63310299

高齢者インフルエンザ予防接種料金の一部助成について

◎市健康課国保医療室 ☎内線517
▼対象 65歳以上の人、60歳以上65歳未満で内部障がいにより身体障害者手帳1級の人
▼助成期間 10月15日(土)～12

ガラポンに挑戦しよう!!

大抽選会

1,000円以上お買い上げレシート1枚につき
(めん処へはお食事1回につき抽選1回とします)

ガラポン1回の抽選に挑戦できます。

当たりが出たら引換券を持ってこらっせ新庄内協賛各ショップで素敵な景品を差し上げます。

10月14日(金) 15日(土) 16日(日)

こらっせ新庄 第2弾

こらっせ祭り

こらっせ新庄/新庄市本町4-33 ☎23-0345

くわしくはコチラで <http://www.colasse.jp/>

第47回新庄市芸術祭参加 秋季盆栽展示会

○10月15日(土)～17日(月)
午前9時～午後5時(17日は午後3時まで)
○ゆめりあ花と緑の交流広場
○新庄盆栽愛好会・小林 ☎22-0519

第21回 秋の山野草展

○10月22日(土)～23日(日)
午前9時～午後5時(23日は午後4時終了)
○市民プラザ1階ロビー
○事務局・新国 ☎22-2108

10月は土地月間

国土利用計画法により、一定面積を
超える土地取引を行った場合に届け出
が義務付けられています。
○総合政策課企画政策室 ☎内線236

催しなど

雪国ギャラリー作品展示

●とき 12月18日(日)まで
●ところ 雪の里情報館雪国ギャラリー
●内容 サークルきらきらによるステンド
グラス作品展「さんざめく光たち」
○入場無料。詳しくは、雪の里情報館へ。
☎22-7891

市民文化会館開館30周年記念事業 新庄カラオケサークル合同歌謡祭

●とき 11月23日(水)正午開演
●ところ 市民文化会館大ホール
●入場料 1,500円(全席自由席)
○詳しくは、市民文化会館へ。☎22-7029

クリスマスリース手作り教室開催

●とき 11月16日(水)①午前10時～正午
②午後7時～9時
●ところ わくわく新庄創作実習室
●内容 どんぐりを中心とした自然素材を
使ったクリスマスリースづくり
●講師 鈴木信夫さん(木ら木ら星)
●材料代 1,500円
●申し込み 11月10日(木)まで
●定員 各20人
○詳しくは、わくわく新庄へ。☎23-0197

フランス料理教室参加者募集

●とき 10月22日(土)午後4時～
●ところ 市民プラザ調理室
●講師 笹美知子さん
●材料費 2,500円
●申し込み 10月20日(木)まで電話で
○詳しくは、事務局・笹へ。☎22-2086

第13回 御堀端自治会文化祭

●とき 10月22日(土)～24日(月)午前9時
～午後5時(24日は午後3時まで)
●ところ 御堀端公民館和室・2階ホール
●内容 絵画・書道・華道など地域住民
の作品展
○詳しくは、事務局・高橋へ。☎23-1507

新庄出身ポップロックバンド My Piano スペシャルワンマンライブ2011

●とき 10月30日(日)午後4時開演
●ところ レキシントン新庄
●チケット 1,000円
○詳しくは、沼沢(メンバー)へ。
☎090-7791-9166

身体障がい者巡回相談

▼対象 聴覚に障がいのある人
▼とき 10月26日(水)午後1時
30分～3時(受け付けは午後
2時30分まで)
▼ところ 市保健センター
▼内容 補装具の無料相談・身

▼とき 10月26日(水)午前9時～
午後3時 ▼ところ シルバー人
材センター敷地内 ▼内容 表具
や書、盆栽などの展示、野菜の
即売、バザー、餅ふるまひなど
○シルバー人材センター
☎22-3065

第19回シルバー フェスティバル開催

月31日(土) ▼助成額 1,000
円 ▼接種方法 委託医療機関
で直接接種してください。
○健康課健康推進室
☎内線513

日本陸上競技連盟 公認審判員試験実施

▼審判講習会後に試験を行
います。
▼とき 11月6日(日)午前9時～
正午 ▼ところ 市民プラザ第
2研修室 ▼申し込み 10月31
日(月)まで電話などで ▼持ち物
審査料2,000円、筆記用具
○新庄地区陸上競技会審判部・
高野 ☎22-1642

体障がい者手帳の交付相談
▼持ち物 身体障がい者手帳、補
装具、印鑑
○福祉事務所高齢障害支援室
☎内線546

平成23年度 新庄市総合防災訓練

大規模な災害に備える総合
的な防災訓練を実施します。
▼とき 10月23日(日)午前8時30
分～正午 ▼ところ 北辰小学

障害基礎年金について

障害基礎年金は、国民年金
加入中や、20歳前で公的年金
に加入していない時の病やけ
がで、一定の障がいが残ったとき
に請求できます。保険料の納
付状況や症状が審査され、1
級か2級(障がい者手帳などの
級とは別)に該当すると年金
が受給できます。ただし、老齢
基礎年金を受給した後は障害
年金の請求ができませんのでご
注意ください。発症日や初めて
医療機関を受診した日、通院

校及び周辺地域 ▼内容はし
ご車・防災ヘリコプターによる
救助訓練、消火器を使った初
期消火訓練など
※場所によっては交通規制が
行われます。
○環境課消防交通室
☎内線435

下水道への 接続調査を行います

上下水道課及び下水道宅内
排水設備工事指定店の職員が
宅内に設置された公共汚水樹の
設置と接続状況を調査します。
▼とき 10月26日(水)～28日(金)
▼調査地区 下田町、千門町の二
部、新町、五日町字宮内など
○上下水道課下水道業務・普
及室 ☎内線331

歴などをあらかじめご確認の
上窓口でご相談ください。
○新庄年金事務所
☎22-2050

危険物取扱者・消防設備士 免状の写真書き換えについて

消防法令により、免状公布
後10年以内ごとに写真の書き
換えが義務付けられています。
○(財)消防試験研究センター
☎023-631-0761

LPガス・灯油・上下水道工事
ガス給湯器・ガスストップコンロ・台所・浴室・リフォーム

— ガスを通して住宅設備のお手伝いをする —
(株) シンブ。ロ

新庄市宮内町5番1号 TEL(代)22-1273

祝 七五三!
お子さんの大切な記録は、
このマークの信頼ある
写真館で残しましょう。



サービス期間
11/30
まで

戸田写真館 N.T.T前 (22)1381	三河写真館 石川町雪の里情報館通り (22)0376	写真のマルイ 大手町郵便局隣 (22)2246	杉山写真館 大手幼稚園向い (22)4159
-----------------------------	----------------------------------	-------------------------------	------------------------------



佐吉爺の

さきちい

子ども遊び

あれこれ



自然豊かなふるさと新庄。昔の子どもたちはこの自然を活かしさまざまな遊びを見出し、日が暮れるまで野山を駆け回って遊んだ。現代ではなかなか見られなくなった、爺の子ども頃の遊びを季節に合わせて紹介します。 文：伊藤佐吉さん(仁田山)



▶仁田山で地域の子どもたちを集めて、懐かしい遊び「かごめ かごめ」を楽しんだ様子。(昭和55年撮影)

〜過ぎし日の想いでのこす 初心にかえり

十月になり、朝晩寒い仲秋の季節となりました。東山もすっかり紅葉になり色づきはじまりました。ことわざにも「天高く馬肥ゆる秋」というが、その通り。暑さ過ぎて、馬の食ばかりでなく、人も食欲の秋で何を食べてもいい。

爺の子どもの頃は近くの野山に行けば、アケビ、ぶどう(サナスズ)、川原には赤いグミの実が鈴なりになっていて、採って食べた。栗の実を拾い、生栗の皮を口でむき、少々渋くても食べた。生栗をいっぱい食べると腹が張って屁八十出ることも言われていた。家の屋敷内には太いやぶメ梨があり、どこの家の実が甘いかに二人で取りに行った。

晴れた日には、空にトンボが無数に飛んでいた。オニヤンマを捕まえて、木綿糸で腹のところをつなぎ飛ばしている

と、仲間のオニヤンマが飛んでくる。友釣りをして一匹しめる(捕まえる)遊びをした。

神社や広場では、男女一緒に遊んでんだ。小さい子も交えて手をつなぎ輪になって「かごめかごめ」かごの中の鳥はいつつ出わる。夜中(夜明け)の晩に鶴と亀がすべった後ろの正面だあれ、歌いながら遊んだ。遊び歌はほかにもたくさんあった。縄跳びでは、五メートルぐらいの縄を回して二人で縄に入り、跳ねながら歌った。大波小波 風が吹いたら山よ、ジャンケンポン

「隠れかご」も五、六人でする遊び。ジャンケンで負けた人は鬼になり、大きな杉の木に顔を付けて目をつぶり百まで数える。その間にみんなが小屋や幹の茂っている所に隠れ、鬼が見つかる遊び。かくれんぼだ。これにも遊び歌があつて、二人で両手をつないで「かくれかご」かなつが、お日さんに照らされて暑がつて、こつがつてべろ引つ込んだと叫んでくるりと回った。

男子は刀槍や木棒鉄砲などを自分で作り、相手の陣地に攻め込む兵隊、ここもよくやった。昭和十四年頃は支那(中国)との戦争中で、子どもたちも戦の遊びであった。模型飛行機、竹トンボ、紙鉄砲作りもした。今の子どもは昔のように自然に触れての遊びがなく、画面を見つめる遊びとなった。

一人では何も出来ない老人が 皆と手結び友と広くなり

表紙の 写真

みんなの森をきれいにしよう 一陣峰市民の森

9月28日、秋晴れの清々しい天気の中、新庄中学校の1年生90人が陣峰市民の森の環境整備を行いました。これは、自然と触れ合うことで環境保護の大切さを感じてもらおうと、市農林課が中学校に呼びかけ実施している「森づくり・森とのふれあい事業」です。この日は、市民の森を訪れる人のために、広場の周りをきれいにし遊歩道の草刈りをした後、歩きやすいようにチップを敷き詰める作業を行いました。



8 月末現在の新庄人

38,719人(39,153人)	
女	20,201人(20,436人)
男	18,518人(18,717人)
世帯数	13,462世帯(13,493世帯)

8月の異動

出生	28人 (20人)
死亡	33人 (35人)
転入	68人 (57人)
転出	84人 (72人)

※()は1年前の住民基本台帳



環境にやさしい植物油インキを使用しています